

ベルハンマーよくある質問集 基本知識編

ベルハンマーを使用しているお客様からよく頂くご質問を問答形式でまとめてみました。
下記 ご注意（免責）をご確認のうえ参考にして下さい。

ご注意（免責）

ブレーキ・クラッチ・特にバイクのエンジンオイル（湿式クラッチ）等、摩擦で動作を制御する箇所には絶対に使用しないでください。

本商品は自己責任にて使用をお願いします。

本製品を使用した塗布対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては 一切保障いたしません。

LS BELL HAMMER Standard



LS シリーズ・H1 シリーズ・GOLD シリーズの違いは何ですか？



① LS シリーズは鉱物系の超極圧潤滑剤です。

一般機械・自動車・バイク・自転車・DIY などにお使い下さい。

② H1 シリーズは食品機械用の潤滑剤です。食品工場でご使用下さい

③ LS ベルハンマーGOLD は添加剤の含有量や調合のバランスを調整して

効果・持続性を高めた LS ベルハンマーのハイグレード商品になります。

実際に LS ベルハンマーと LS ベルハンマーGOLD の違いをまとめた実験データになります。

<http://www.suzuki-kikoh.com/data/tech/181031%20compare-ls-gold-image.pdf>



MSDS・SDS（製品安全データシート）はありますか？



あります。弊社ホームページ内の LS シリーズ・H1 シリーズ・GOLD シリーズ各ベルハンマーページ内、最下部に全商品表示、MSDS・SDS をダウンロード出来るようになっております。

LS ベルハンマー：<http://www.suzuki-kikoh.com/lshh/>

H1 ベルハンマー：<http://www.suzuki-kikoh.com/bellhammer/>

LS ベルハンマーGOLD：<http://www.suzuki-kikoh.com/lshhg/>



ゴム、樹脂、プラスチックへの影響はありますか？



工業製品に使われるゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類があります。参考資料として対油表を準備していますが、自己責任にてご使用下さい。

耐油表：<http://www.suzuki-kikoh.com/sozaihead/oilproofable.pdf>

Q 耐熱温度は何℃？

A LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともに196℃～200℃付近になります。

Q 耐寒温度は何℃？

A LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともに-15℃になります

※補足：例えば、-20℃前後の環境で動いているところもあるが、基本的には難しいです。

常に稼働させている箇所であれば金属が熱を持っているので、動かせることもあるが
放置させている装置は結露が付いたりしてしまっていて潤滑は期待できません。

Q 浸透性はありますか？

A 浸透性は、LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともにとっても良いです。

Q スプレー式420mlでは原液配合量は何CCですか？

A LS 原液 170ml + LPG ガスの構成です。

H1 原液 135ml + LPG ガスの構成です。

GOLD 原液 170ml + LPG ガスの構成です。

Q クリーンルームへ対応していますか？

A 申し訳ございませんが、未対応です。

Q ベルハンマーに、シリコンオイル・シリコーンオイルは使用されていますか？

A LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズ共に、
シリコンオイル・シリコーンオイルは一切使用しておりません。

Q ベルハンマーシリーズ(LS・H1・GOLD)の保存期間はどれくらいですか？

A LS・GOLD・H1 スプレー・原液・グリース各種の保存期間は基本的に2年になります。

ただし、保管方法によっては多少の差異は出ます。

Q ベルハンマーシリーズ(LS・GOLD・H1)の保存方法について？

A LS・GOLD・H1 スプレー・原液・グリース各種ともに、冷暗所で保管してください。

また、原液については非常に浸透性が高い商品のため

寝かして保管することにより、漏れる可能性がございますので

必ず立てて保管するようお願い致します。

Q LS ベルハンマーの粘度について

A LS ベルハンマーは粘度グレード ISO VG 規格の VG68 相当の粘度になります。

Q LS ベルハンマーグリース No. 0 と No. 2 の違いについて

A ちょう度（グリースの硬さを表す基本物性値）に違いがあります。

潤滑性能は変わりません。耐熱の違いもございません。

No. 0 の方が No. 2 より柔らかいです。No. 0 と No. 2 のちょう度は JIS 規格に準拠しております。

No. 0：フレッチング（微動摩耗）を起こしやすい場所、高速回転や軽量の箇所への充填に機械の摺動部分にお勧めしております。

No. 2：密封玉軸受用（ベアリング）

ダンパーを必要とするような重たい（トルクのかかる）箇所や面圧の強い箇所や
かみ合わせて使うようなところにお勧めしております。

Q LS ベルハンマーグリーススプレーについて

A LS ベルハンマーグリーススプレーは、LS ベルハンマーの No. 0 のグリースをスプレータイプで使用できるものになります。

Q LS ベルハンマーグリース No. 0 と No. 2 420ml の見分け方について

A 現行のカートリッジ式（蛇腹タイプ）のグリースは黒の容器になっております。
見分け方としては、キャップの色が違います。

No. 0：透明（白）キャップ

No. 2：オレンジキャップ

Q ベルハンマーに赤キャップと黒キャップの商品がありますが、どのような違いがありますか？

A 現在、場合によって赤キャップと黒キャップが混在しておりますが
旧デザインが赤キャップ、新デザインが黒キャップとなっております。
製品の中身自体に違いはございません。

Q スプレー缶を処分する際に穴を空けて捨てて大丈夫か？

A メーカーとして推奨はできませんが（空けた際にガスが残っていた際にケガをする恐れがあるので）
各自治体の処分方法に従って処分してください。



LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズの違いは何ですか？



① LSシリーズは鉱物系の超極圧潤滑剤です。

一般機械・自動車・バイク・自転車・DIYなどにお使い下さい。

② H1シリーズは食品機械用の潤滑剤です。食品工場でご使用下さい

③ LSベルハンマーGOLDは添加剤の含有量や調合のバランスを調整して
効果・持続性を高めたLSベルハンマーのハイグレード商品になります。

実際にLSベルハンマーとLSベルハンマーGOLDの違いをまとめた実験データになります。

<http://www.suzuki-kikoh.com/data/tech/181031%20compare-ls-gold-image.pdf>



MSDS・SDS（製品安全データシート）はありますか？



あります。弊社ホームページ内のLSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズ各ベルハンマーページ内、最下部に全商品表示、MSDS・SDSをダウンロード出来るようになっております。

LSベルハンマー：<http://www.suzuki-kikoh.com/lsh/>

H1ベルハンマー：<http://www.suzuki-kikoh.com/bellhammer/>

LSベルハンマーGOLD：<http://www.suzuki-kikoh.com/lshg/>



ゴム、樹脂、プラスチックへの影響はありますか？



工業製品に使われるゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類があります。
参考資料として対油表を準備していますが、自己責任にてご使用下さい。

耐油表：<http://www.suzuki-kikoh.com/sozaihead/oilproofable.pdf>



耐熱温度は何℃？



LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともに196℃～200℃付近になります。



耐寒温度は何℃？



LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともに-15℃になります

※補足：例えば、-20℃前後の環境で動いているところもあるが、基本的には難しいです。

常に稼働させている箇所であれば金属が熱を持っているので、動かせることもあるが
放置させている装置は結露が付いたりしてしまって潤滑は期待できません。



浸透性はありますか？



浸透性は、LS・GOLD・H1ともにとっても良いです。

Q スプレー式 420ml では原液配合量は何 CC ですか？

A LS 原液 170ml + LPG ガスの構成です。
H1 原液 135ml + LPG ガスの構成です。
GOLD 原液 170ml + LPG ガスの構成です。

Q クリーンルームへ対応していますか？

A 申し訳ございませんが、未対応です。

Q ベルハンマーに、シリコンオイル・シリコーンオイルは使用されていますか？

A LS シリーズ・H1 シリーズ・GOLD シリーズ共に、
シリコンオイル・シリコーンオイルは一切使用しておりません。

Q ベルハンマーシリーズ (LS・GOLD・H1) の保存期間はどれくらいですか？

A LS・H1・GOLD シリーズのスプレー・原液・グリース各種の保存期間は基本的に 2 年になります。
ただし、保管方法によっては多少の差異は出ます。

Q ベルハンマーシリーズ (LS・GOLD・H1) の保存方法について？

A LS・GOLD・H1 シリーズのスプレー・原液・グリース各種ともに、冷暗所で保管してください。
また、原液については非常に浸透性が高い商品のため
寝かして保管することにより、漏れる可能性がございますので
必ず立てて保管するようお願い致します。

Q LS ベルハンマーGOLD の粘度について

A LS ベルハンマーGOLD は粘度グレード ISO VG 規格の VG68 相当の粘度になります。

Q スプレー缶を処分する際に穴を空けて捨てて大丈夫か？

A メーカーとして推奨はできませんが(空けた際にガスが残っていた際にケガをする恐れがあるので)
各自治体の処分方法に従って処分してください。

Q 「H1」という規格について教えてください？

A H1とはNSFという米国の非営利第三者機関が定めた「食品に偶発的に接触する可能性がある箇所に使用できる潤滑剤」の規格です。
世界では「NSF H1規格」が食品機械用潤滑剤のスタンダードとなっており
日本でも多く採用されている規格になります。

Q 厚生労働省が認可した食品機械用潤滑剤はあるか？(食品衛生法に対応している潤滑剤)

A 厚生労働省が認可している食品機械用潤滑剤の規格は存在しません。
唯一、食品添加物規格として流動パラフィンのみがパン製造時の離型剤として定められています。

Q H1ベルハンマーの粘度について

A H1ベルハンマーは通常時は粘度グレード ISO VG規格のVG22～VG32相当の粘度です。
攪拌時はVG40番台相当の粘度になります。

Q NSF(ホワイトボード)の認証番号はありますか？

A あります。弊社ホームページにて全商品表示、ダウンロード出来るようになっております。
H1: <http://www.suzuki-kikoh.com/bellhammer/>

Q H1のスプレー、グリース、原液は混在しても大丈夫でしょうか？

A 混在しても大丈夫です。
また、スプレーや原液でグリースを溶いて、お好みのちょう度(かたさ)で使用することもできます。



H1シリーズ混在可否の説明動画はこちら

Q H1が熱にさらされた際に出てくる煙に害はありますか？

A 第4石油類の油なので、100℃くらいから揮発致します。(うっすら煙が出てきます)
196℃くらいから目に見えるくらいの煙が出てきます。
煙に関しては、基本的には害はございません

Q H1シリーズの臭いはどれくらいですか？

A 基本的には油なので、多少のにおいがございます



LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズの違いは何ですか？



④ LSシリーズは鉱物系の超極圧潤滑剤です。

一般機械・自動車・バイク・自転車・DIYなどにお使い下さい。

⑤ H1シリーズは食品機械用の潤滑剤です。食品工場でご使用下さい

⑥ LSベルハンマーGOLDは添加剤の含有量や調合のバランスを調整して

効果・持続性を高めたLSベルハンマーのハイグレード商品になります。

実際にLSベルハンマーとLSベルハンマーGOLDの違いをまとめた実験データになります。

<http://www.suzuki-kikoh.com/data/tech/181031%20compare-ls-gold-image.pdf>



MSDS・SDS（製品安全データシート）はありますか？



あります。弊社ホームページ内のLSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズ各ベルハンマーページ内、最下部に全商品表示、MSDS・SDSをダウンロード出来るようになっております。

LSベルハンマー：<http://www.suzuki-kikoh.com/lspb/>

H1ベルハンマー：<http://www.suzuki-kikoh.com/bellhammer/>

LSベルハンマーGOLD：<http://www.suzuki-kikoh.com/lspbhg/>



ゴム、樹脂、プラスチックへの影響はありますか？



工業製品に使われるゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類があります。

参考資料として対油表を準備していますが、自己責任にてご使用下さい。

耐油表：<http://www.suzuki-kikoh.com/sozaihead/oilprooftable.pdf>



耐熱温度は何℃？



LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともに196℃～200℃付近になります。



耐寒温度は何℃？



LSシリーズ・H1シリーズ・GOLDシリーズともに-15℃になります

※補足：例えば、-20℃前後の環境で動いているところもあるが、基本的には難しいです。

常に稼働させている箇所であれば金属が熱を持っているので、動かせることもあるが
放置させている装置は結露が付いたりしてしまっって潤滑は期待できません。



浸透性はありますか？



浸透性は、LS・H1・GOLDともにとても良いです。

Q スプレー式 420ml では原液配合量は何 CC ですか？

A LS 原液 170ml + LPG ガスの構成です。
H1 原液 135ml + LPG ガスの構成です。
GOLD 原液 170ml + LPG ガスの構成です。

Q クリーンルームへ対応していますか？

A 申し訳ございませんが、未対応です。

Q ベルハンマーに、シリコンオイル・シリコーンオイルは使用されていますか？

A LS シリーズ・H1 シリーズ・GOLD シリーズ共に、
シリコンオイル・シリコーンオイルは一切使用しておりません。

Q ベルハンマーシリーズ (LS・GOLD・H1) の保存期間はどれくらいですか？

A LS・H1・GOLD シリーズのスプレー・原液・グリース各種の保存期間は基本的に 2 年になります。
ただし、保管方法によっては多少の差異は出ます。

Q ベルハンマーシリーズ (LS・GOLD・H1) の保存方法について？

A LS・H1・GOLD シリーズのスプレー・原液・グリース各種ともに、冷暗所で保管してください。
また、原液については非常に浸透性が高い商品のため
寝かして保管することにより、漏れる可能性がございますので
必ず立てて保管するようお願い致します。

Q スプレー缶を処分する際に穴を空けて捨てて大丈夫か？

A メーカーとして推奨はできませんが(空けた際にガスが残っていた際にケガをする恐れがあるので)
各自治体の処分方法に従って処分してください。

Q H1 ベルハンマーの銅に対する影響について

A 指で触ったとき(息を吹きかけた時)に色が変わらなければ
ほぼ変わりません。
また、油がついていれば逆にさびにくくなります。

Q H1 は土についた際に分解されますか？

A 分解はされませんが、食品への偶発的な接触は許される基準の商品ですので
安全性は一般的な油脂と比べると安全性は高いかと思えます。

LS・H1・GOLD ベルハンマー 耐油表

(注) 下記データは室温によるデータです。

高温等で使用する場合は、試験片による実用試験にて確認して下さい。

下記 ご注意（免責）をご確認のうえ参考にして下さい。

ご注意（免責）

工業製品に使われているゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類・物性・特性があります。

あくまで参考資料として耐油表をお使い下さい。

本製品を使用した塗布対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては一切保障いたしません。

① ゴムに対する影響

ゴムの種類（略号）		ゴムの種類（略号）	
天然ゴム (NR)	×	ニトリルゴム (NBR)	◎
ブタジエンゴム (BR)	×	アクリルゴム (ACM)	◎
スチレンゴム (SBR)	×	ウレタンゴム (U)	◎
ブチルゴム (IIR)	×	シリコーンゴム (Si)	○△
エチレン・プロピレンゴム (EPM)	×	フッ素ゴム (FPM)	◎

② プラスチック・樹脂に対する影響

プラスチック・樹脂の種類（略号）		プラスチック・樹脂の種類（略号）	
塩化ビニル樹脂/軟質 (PVC)	△	フッ素樹脂 (PTFE)	◎
塩化ビニル樹脂/硬質 (PVC)	○	ポリカーボネイト (PC)	◎
ポリスチレン (PS)	—	メチルペンテン樹脂 (TPX)	◎
ABS (ABS)	◎	ポリウレタン (PU)	—
ポリエチレン (PE)	△	フェノール樹脂 (PF)	◎
ポリプロピレン (PP)	○	メラミン樹脂 (MF)	◎
ナイロン (PA)	◎	エポキシ樹脂 (EP)	○
アクリル樹脂 (PMMA)	○		

◎：全くあるいはほとんど影響がない ○：若干の影響はあるが条件により十分使用に耐える

△：なるべく使用しないほうがいい ×：大きく影響があるため、使用に適さない

—：データ無し